*R2.10.21愛媛県卓球協会*

**「卓球大会等の再開に向けた感染防止ガイドライン（愛媛卓球Restart計画）」の改訂について**

**◯１１月1日以降のガイドライン（改訂）**

**国、愛媛県等による活動方針を参考に、「愛媛県卓球協会感染防止ガイドライン（愛媛卓球Restart計画）」を次のとおり改訂します。**

１．｢卓球練習｣や「卓球大会」への参加者等の対応について

GOTOトラベルの実施や高校生の大学受験等による国内都道府県間の往来が多くなったことから、国内の感染拡大地域等の文言を削除する。（愛媛県高体連も同様の対応をしており、共通の対応が望ましい。）

・海外や感染拡大地域等から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

　 　　　　　　　　　　　　　　 　↓

・海外から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

２．「卓球大会」開催に係る競技会場の対応について

　　卓球台やボール（試合球）は１試合毎に専用クリーナーで消毒することが望ましいが、試合の円滑な進行を妨げる場合が散見されることから、進行状況を確認しつつ、１試合毎又は定期的に消毒するとした。

・卓球台及びボールは、1試合毎に専用クリーナー等で消毒する。

　 　　　　　　　　　　　　　　 　↓

・卓球台及びボールは、1試合毎又は定期的に専用クリーナー等で消毒する。

３．「卓球大会」開催に係る試合進行に関することについて

（１）少人数の大会では、開会式前の全体練習は必ずしも密な状態にはならないことから、大会の規模等を見て適切に判断すればよいと思われ、次のとおり変更することとした。

・当面の間、開会式前の練習時間は設けず、試合直前の練習に限る。

　 　　　　　　　　　　　　　　 　↓

・開会式前の全体練習は、参加選手数等に応じて実施の是非を判断する。

（２）大会開始前の競技上の注意等は必要であり、集合形式の開会式を避ければよいことから、次のとおり変更することとした。

・開会式は省略し、棄権者、競技上の注意、その他注意はマイク放送により行う。

　 　　　　　　　　　　　　　　 　↓

・開会式は、集合形式では行わず、簡略な挨拶、競技上の注意、その他注意等をマイク放送により行う。

**『卓球大会等再開にかかる感染防止対策について（ガイドライン）』**

（１）『卓球練習』にかかる感染防止対策

　1）基本的事項

**①参加者は５,０００人以下で、会場の定員の５０％以内の規模とする。**

**②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた内容とする。**

2）参加者の対応

①次に該当する場合は参加を見合わせるようにする。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

②代表者は、参加者の氏名、年齢、連絡先（電話番号）、当日の体温等体調ほかを記録しておく。

③マスクを持参する。（練習中の着用は要しないが、練習以外、特に会話するときは着用する。）

④3密を避けるよう徹底する。お互いが2ｍ以上の距離を確保するようにする。

⑤咳エチケットやこまめな手洗いに心掛ける。

⑥唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。

３）卓球場の練習環境

①感染防止のためのチェックリストを卓球場に掲示しておく。

②卓球場には手指消毒剤を設置するとともに、参加者はこまめに利用する。

③手洗い所に石鹸(できればポンプ式)及び使い捨てのペーパータオルを用意する。または、参加者はマイタオルを持参する。

④更衣室はできる限り利用しないようにし、利用する場合は交代で利用する。

⑤参加者が触れる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）は、こまめに消毒する。

⑥練習の交代時等に加え、2時間ごとに窓を開けるなど、こまめに換気をする。

⑦卓球台は、十分な間隔を開けて設置する。（2m以上、できれば４ｍ以上を推奨する。）

⑧卓球台及びボールは、練習の合間に専用クリーナー等で効果的に消毒する。

4）練習時での対応について

①当面の間、練習中のチェンジコート、チェンジエンドは行わない。

②複数の者が同じボールを使用しない。（複数コートのボールの混在を避ける。）

③卓球台上で手を拭かない、こすらないようにする。

④タオルは共用しない。

⑤飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。

⑥シューズの裏で手を拭かないようにする。⑦

（２）『卓球大会』開催にかかる感染防止対策（主催者）

　1）基本的事項

**①参加者が５，０００人以下で、会場の定員５０％以内の規模とする。（役員・引率者等を含む。）**

**②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた大会とする。**

2）大会の内容、事前対応について

①参加者（選手及び監督・外部指導者等）が次に該当する場合、参加を見合わせるよう求める。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

②参加者に次の項目を遵守するよう事前に周知する。

・マスクを持参してもらう。（試合中の着用は要しないが、試合以外の受付時や待機中等、特に会話する時は着用する。）

・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。

・他の参加者やスタッフ等との距離を確保する。（できるだけ2ｍ以上）3密を避ける。

・大会中に大きな声で会話や応援等をしないようにする。

・感染防止措置の遵守、主催者の指示に従う。

・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

③参加者の氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）、当日の体調等について書面提出を事前に周知する。

④参加者の大会前2週間の体調等について書面提出を事前に周知する。

⑤参加者に、事前に組合せ及びタイムテーブルを配布し、順次 会場入りしてもらうようにする。

⑥参加料は、振込みにより納付してもらう。（できれば事後納付とする。）

⑦場合によって、大会日程を分けての開催も検討する。

3）受付時の対応について

①スタッフは常時マスクを着用する。可能なら、フェイスシールドも着用する。

②スタッフは参加者や他のスタッフとの距離を確保する（できるだけ2ｍ以上）。３密を避ける。

③参加者がマスクを持参しているか確認する。

④参加者が距離を置いて並べるよう目印を設置する。

⑤発熱や軽度でも咳、咽頭痛等体調がよくない人は入場しないよう呼びかける。（体温計の準備も）

⑥受付に手指消毒剤を設置し、使用を呼びかける。

⑦参加者から、事前対応の氏名や当日の体調等、大会前2週間の体調等の書面の提出を求める。

⑧受付時での書面の記入や現金の授受等は避ける。配布書類があれば、各自とってもらう。

4）会場入口、手洗い所、更衣室の対応

①感染防止のためのチェックリストを受付場所等に掲示する。

②チェック事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。

③受付窓口･本部席等に手指消毒剤を設置するとともに、参加者に利用するよう促す。

④手洗い所に石鹸(できればポンプ式)を用意する。参加者にはマイタオルの持参をお願いする。

（ペーパータオルも用意しておく。）

⑤手洗い所に「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

⑥更衣室に入室する参加者の数を制限する。

⑦更衣室の換気扇を常に回すとともに、小窓を開ける等換気に配慮する。

⑧参加者、スタッフが触れる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）は、こまめに消毒する。

5）競技会場の対応

①十分な換気を行う。控室等の部屋は2時間おきに換気する。

②卓球台は適当な間隔を開けて設置する。（できれば４mを確保する。）

③卓球台及びボールは、1試合毎又は定期的に専用クリーナー等で消毒する。

　（70％アルコールは使用不可であるほか、他の洗剤等についても使用は控える。）

④選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等は1試合ごとに、マイクは使用ごとに消毒する。

6）試合進行に関すること

1. 大会を通して、参加者・スタッフは3密を避ける。

②開会式前の全体練習は、参加選手数等に応じて実施の是非を判断する。。

③開会式は、集合形式では行わず、簡略な挨拶、競技上の注意、その他注意等をマイク放送により行う。

④審判は選手から十分距離をとるほか、接触を避ける。

⑤審判及びスタッフは、常時マスクを着用する。可能なら、フェイスシールドも着用する。

⑥選手間や選手と審判の握手はしない、ラケット交換はしないようにする。

（ラケットは離れた位置から、相手選手に見せるようにする。）

⑦当面の間、ゲームごとのチェンジエンドは行わない。

⑧選手は、卓球台上で手を拭いたり、こすったりしないようにする。

⑨シューズの裏を手で拭かない。

⑩選手は、試合中に叫び声をあげたり、大声を出したりしないようにする。

⑪すべての試合に対戦記録用紙を用意し、試合結果は記録用紙の提出による。

⑫選手は、本部席の試合球と対戦記録用紙を取って試合をし、試合後は本部席の返却用専用箱に返すようにする。

⑬選手、スタッフとも、筆記用具は自前のものを使用する。

⑭タオルの共用はしない。

⑮飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。

（３）『卓球大会』開催にかかる感染防止対策（参加者）

①大会に関して、参加者は自己責任による参加とする。

②主催者からの依頼事項、周知事項、提出事項等は必ず遵守する。

③県卓球協会のホームページ等により、大会等の開催状況を十分確認する。

④次に該当する場合は参加を見合わせる。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外から来県･帰県し２週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

⑤マスクを持参する。

（選手は試合中の着用は要しないが、試合以外は着用する。監督･コーチ等は常時マスクをする。）

⑥こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をする。

⑦3密を避けるよう徹底する。お互いが2ｍ以上の距離を確保するようにする。

⑧会場で大きな声で会話、応援等をしないようにする。

⑨大会の途中で体調が悪くなった場合は、直ちに大会運営者に届ける。その場合、大会の途中棄権となる可能性がある。

⑩大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。

⑪体調不良などにより申込み後に不参加となった場合は、参加料は返還できない。

⑫新型コロナウイルス感染症の関係で大会等が中止となった場合は、参加料は返還する。

⑬咳エチケットや頻繁な手洗いを心掛ける。

⑭唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。

⑮大会前後のミーティングや懇親会においても、3密は避ける。